

防災学習



▲阪神・淡路大震災から学びます

播磨小学校1年生

1月16日(金)、本校では町防災訓練がありました。1年生にとって初めての「地震による避難訓練」、授業参観での「防災学習」と大きな行事となりました。防災の授業では、阪神・淡路大震災のビデオや作文から地震の恐ろしさやライフラインの重要性、命の大切さを感じ取りました。避難訓練では「お・は・し・し・も」を守り、落ち着いて行動するように頑張りました。訓練の中で救助に来ていたはしご車のはしごが45分も伸びるのにも驚いていました。お家に帰ってからは、いただいた非常食を食べたり、緊急時に必要な住所や連絡先、家族の集合場所などについて話し合ったりしました。「地震ってこわいなあと感じた。今日のようにすぐ机などの下に隠れようと思う。家の住所や電話番号も覚えた」と感想を発表しました。有意義な学習ができました。お世話になった方々、ありがとうございました。

育てる楽しみ、味わう楽しみ



▲待ちに待った、ダイコンの収穫!

蓮池小学校2年生

1学期、生活科の学習で育てたナスやピーマン・キュウリは天ぷらや塩もみにして食べました。その時、それぞれに育てたブチトマト同様、毎日大きくなり、収穫できる楽しみも一緒に味わうことができました。

そこで2学期は、ダイコン・ミスナ・ホウレンソウ・チンゲンサイを育てました。あんなに小さい種だったダイコンが、ぐんぐん大きく成長していくのが子どもたちにとっては不思議でもあり、楽しみでもありました。葉につく虫をとったり、間引きをしたりしながら収穫を心待ちにしていました。そして、大歓声で収穫したダイコンは、リッパに成長していました。さあ、いよいよ、食べる日! 育てた野菜を恐る恐る切り、豚汁にしました。できあがった、あったかくおいしい豚汁は、心まで温かくしてくれました。各自が持ち帰ったダイコンは、どうやって食べたのかな?

全力疾走 校内マラソン大会



▲ゴール目指して、がんばれ!!

播磨中学校

12月13日(土)、播磨町内に白くたち込める朝霧。その中に子どもたちの声がありました。この日は、播磨中学校恒例の「校内マラソン大会」でした。自分に挑戦する者、友達と競う者、歴代記録を目指す者、それぞれの目標を持ち、スタートの待ちは辛いです。スタート。合図とともにグラウンドを蹴る音がこだまし、20分もない短い時間の中で、白い湯気をたてながらまたグラウンドに帰ってきます。帰ってくるその顔には、何物にもかえられない満足感でいっぱいでした。そして、みんなPTAの方々が作ってくださったあつあつのうどんを食べました。生徒、学校、PTAが一つとなって行われるマラソン大会。これからも、子どもたちには「必死に一つのことを頑張る姿勢」や「周りの人への感謝」を忘れないでほしいです。

心も体もぽっかぽか!!



▲「なかよし家族」で体を動かします

蓮池幼稚園

寒い朝も9時になると「なかよし家族」が誘い合って、にこにこ広場に集まってきました。「おはようー!」大好きなお兄さんやお姉さんの声に年少組も大急ぎ。寒くてかじかむ手でも手をつないでもらい、人の手のぬくもりを感じる瞬間です。いつの間にかあちこちに笑顔がいっぱい。

みんな一緒に思い切りからだを動かす「ドングリ体操」で体も温かくなってきました。門を飛び出し、いどばたガーデンを通過してのマラソン。「がんばれ〜」の声も聞こえてきます。心も体もポカポカ。朝の冷たい澄んだ空気を吸い込んで今日も元氣いっぱい1日が始まりませう!!

芸術鑑賞について



▲和太鼓で日本の伝統を感じました

播磨南高等学校

私たちは、芸術鑑賞で和太鼓の演奏を聞かせていただきました。すごい迫力で、体育館が揺れているように感じました。お面をかぶって太鼓をたたいたりして、とても楽しく見ることができました。途中、お面をかぶっている人が、後ろの方まで走ってきた時は少し怖かったのですが、すごいパフォーマンスだなと思いました。生徒と保護者の方を舞台上に上げていただいた時は、みんなすごく盛り上がり上がっていました。今まで、生徒が舞台上がって一緒にする、ということはなかったので、楽しくてよかったです。和太鼓の演奏を聴いたことは何度かありますが、こんなパフォーマンスがあったらいいなと思います。楽しい演奏を聴いたのは初めてでした。また機会があれば、聴かせていただきたいなと思いました。

「ファイト!」「ファイト!!」



▲自然を感じながらのマラソンです

播磨中央保育園

今朝も「ファイト」と元氣な掛け声が聞こえてきます。2歳児から5歳児の子どもたちは、毎朝体操の後マラソンをしています。保育者や友達と「ファイト」と声を合わせ、冬の冷たい風にも負けず、元氣いっぱいです。園庭を出て、喜瀬川沿いを走ると、四季の移り変わりが感じられます。時には河原まで降りて草や花を見ついたり、虫の鳴き声を聞き、カモの親子が泳ぐ姿や岩の上で日なたぼっこをしているカメを見つけては「わぁー」と歓声をあげ、「何しているのかなぁ」と興味深く見えています。一生懸命に走っていると、時には、転ぶこともあります。「大丈夫?」「走れる?」と転んだ友達に優しい言葉をかける姿を見て、人の痛みのわかる、思いやりの心が育っていることをうれしく思いました。

子どもたちの生活習慣

視力低下を防ぎましょう

▼問い合わせ

学校教育グループ

☎079(435)0545



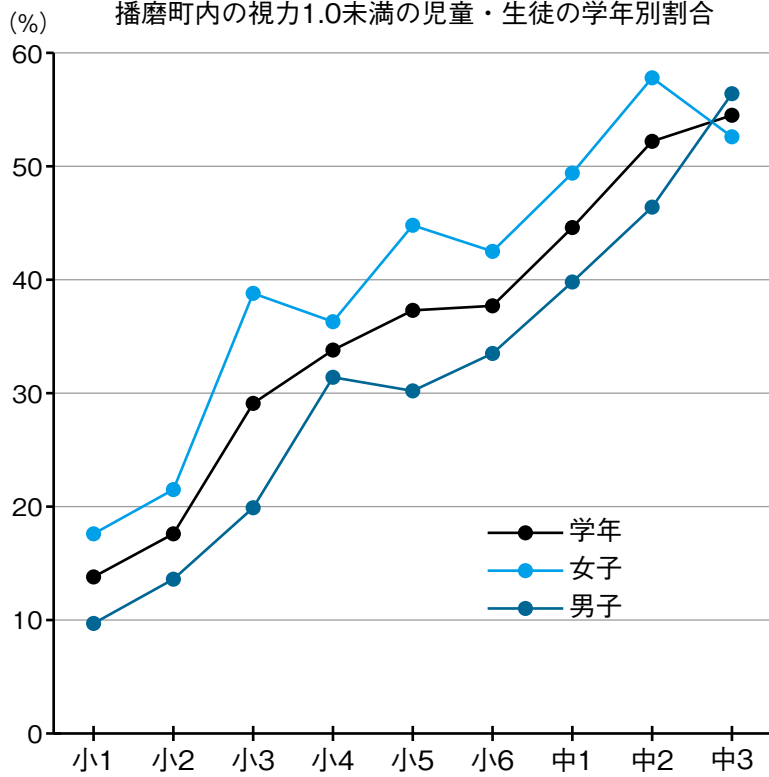
文部科学省の全国学校保健調査で視力1.0未満の園児が3割に迫ることが明らかになりました。これは視力調査が始まった1979年からの30年間で2倍近くに増えたこととなります。子どもの視力の低下傾向は続いており、「1.0未満」の小中学生は29.9%（前年度比1.8ポイント増）、中学生も52.6%（同14ポイント増）と、ともに過去最高。今回の調査で、視力低下の低年齢化がさらに進行していることを裏付けられました。

播磨町でも年長児の29.7%、小学生の28.2%、中学生の50.5%が視力1.0未満で全国平均と同じような結果を示し

ています。文部科学省によると、視力の低下はテレビやゲーム機器の影響と見られるとのことですが、確かにゲーム機に遊んでもらって、食事のときでもゲーム機を手放せない子どももいます。驚異的な視力(3.0〜8.0)をもつこと有名なマサイ族、視力は生まれつきのもと思われがちですが、これはサバンナで家畜を猛獣などの危険から守るために常に遠くを見つめることを通して身につけたものだといわれています。都市部に住んでいるマサイ族は平均1.0程度の視力しかもっていませんから、遺伝ではないようです。よく視力は遺伝、親も目が悪

いからといわれますが、実は視力低下の原因の90%は生活習慣によるものです。テレビを近くで見たり長時間見ることも視力低下の原因ですが、ゲーム機は普通にテレビを見る場合に比べて3〜4倍も目が疲れるそうです。さてグラフは、播磨町の小中学生の視力が1.0未満の児童生徒の割合の変化を示したものです。グラフから視力が悪くなるときは2つの時期があることが分かります。小学校2年生から3年生になると小学校から中学校になると視力低下を防ぎましょう。

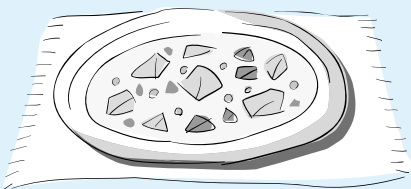
播磨町内の視力1.0未満の児童・生徒の学年別割合



●●● 家庭教育講演会の案内 ●●●

子どもの生活習慣 ～変貌する食卓風景～

子どもが描く食卓風景の絵から何が問題かを考え、子どもを育てる食卓のあり方を一緒に考えましょう。



- ▶講師 室田洋子先生(聖徳大学教授)
- ▶日時 3月25日(水)午後2時~4時(受付開始1時30分)
- ▶場所 中央公民館 大ホール
- ▶主催 家庭教育推進委員会・播磨町教育委員会
- ▶申し込み 教育委員会が各学校園にお願いします。託児も行っています
- ▶問い合わせ 学校教育グループ(担当 藤原) ☎079(435)0545

播磨幼稚園

様々な人と心ふれ合う中で 生きる力の基礎を育む

本園では、あたたかい人間関係を基盤に、一人ひとりが自分の思いや考えを素直に表現したり、伝え合ったりしながら、生きる力の基礎となる豊かな心情や意欲、態度などを育む教育を進めてきました。

本年度の主な取り組みの成果

- 友達や異年齢児、地域の人など、様々な人と心ふれ合う時間を大切にすることで、人に対する信頼感が育ち、安定して生活しています
- 幼児のありのままの姿を受け止め、良さを認めていくことで、自分の思いを素直に表現しようとして、自信にもつながってきています
- 大人から声を掛けたり認めたりしたことで、自分から進んであいさつをしようとする姿が多く見られるようになりました
- 友達との遊びやトラブルなどを通して、互いの思いを伝え合うことの大切さがわかってきています
- 考えを伝え合い、刺激し合う場を大切にする中で、遊びが充実し、意欲につながってきています
- 絵本の貸し出しやお話会などを通して、様々な言葉やお話に触れることができてきました
- 食育や基本的な生活習慣など、家庭と連携していることで、定着しつつあります



一人ひとりの幼児が、様々な人とかがわかる中で、自分の力を十分発揮しながら心豊かに育ってほしいと願っています。これからも地域の皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

<http://www.town.harima.lg.jp>

播磨西幼稚園

育ち合う豊かな心 元気なからだ 育つ食卓風景

幼児の基本的な生活習慣の確立を目指して取り組んできました。また、家庭や地域との連携を図りながら様々な体験を通して幼児の育ちや食卓の大切さを考え、豊かな心と元気な体の幼児の育成に努めてまいりました。

主な取り組みと成果

- ①基本的な生活習慣や態度の確立
○あいさつや片づけ、食事のマナーなど生活に必要な習慣や態度が、身につくよう園生活が過ごせるようになってきました
- レッツ・チャレンジなどで、幼児の実態を把握し、実態に応じた課題をもって取り組みました
- 子育て情報の発信に努めました
- ・園で収穫した食材などを使った料理のレシピなどを通路に掲示し、家庭でもできるよつにしました。楽しみにしていると保護者の喜びの声を聞くことができ定着してきていることが分かりました
- ②地域との連携を密に開かれた園づくり
○地域の様々な人との交流の中で自然体験の充実に努めました
- ・いろいろな野菜を自分たちで育て、収穫・調理して食卓で食に対する関心が深まってきました
- 老人クラブ、絵本ボランティア、小学校、中学校などいろいろな人との交流を通して、温かい気持ちに触れたり人とかかわる楽しさを感じたりすることができました

今後、保護者や地域の皆さまとの連携を大切にする中で、より豊かな体験ができるようにし、心豊かで元気な体の幼児を目指し努力していきたいと思っております。

<http://www.town.harima.lg.jp>

蓮池幼稚園

心豊かに生き生きと活動する子どもの 育成を目指して

本年度は、「仲間と共に育ち合う子ども」を研究主題にして、幼児の「一人の育ち」友だちとともに育ち合う育ちを支える教師の援助の向上に全職員で取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

- 援助(指導方法)の向上と教師の資質の向上
「幼児は、自分から環境にかかわり『遊び込む』ことで、発達に必要な体験を得ていく」ものと捉え、幼児が必要としているときに、適切な環境を用意したり、適切な援助ができるように、研究保育や研究協議を通して、幼稚園教師としての資質と指導力を高めあう実践をしてきました。
- 野菜を育てる体験を通しての食育
年間を通して、幼児一人ひとりが自分たちの手で身近な野菜を育て、収穫してきました。育てることの大変さ、そして、それらを一緒に調理して食卓の楽しさを味わいました。このような体験を通して「食」に対する関心が高まっています。
- 地域の皆さまから、「理解と大きなお力をいただき、皆さまに支えられていることに感謝しています。今後、家庭や地域の皆さまから信頼される幼稚園を目指して取り組んでいきたいと思っております。



今後、保護者や地域の皆さまとの連携を大切にする中で、より豊かな体験ができるようにし、心豊かで元気な体の幼児を目指し努力していきたいと思っております。

<http://www.town.harima.lg.jp>